

たとえば、こんなお悩みはありませんか？

職場研修に取り組みたいけれど、実際何から始めればよいかわからない



職場内研修を実施したいけれど、テーマに即した講師が見つからない



介護技術について講師を招いて研修をしたいけれど、どこに頼めばいいのかわからない



そんなときは、島根県福祉人材センターにお気軽にご相談ください。島根県福祉人材センターでは、島根県から委託を受けて講師紹介やカリキュラム作成支援を行っています。



・・・申し込みから研修までの流れ・・・

- 事前相談** 人材センターでは、施設・事業所での職場研修の企画から講師紹介まで、研修に関するご相談に応じます。お気軽にご相談ください。(無料)
- 研修の申込み** 「職場研修サポート事業講師派遣プログラム一覧」から希望の科目を選び、講師派遣申請書に必要な事項を記入し、郵送またはFAXにより申し込んで下さい。申し込みは研修希望日の概ね2ヶ月前までとします。
- 申込み受付** 人材センターが窓口となり、養成校、職能団体の担当者と連絡調整し、派遣する講師と日程を決定します。
- 講師の決定** 講師が所属する養成校・職能団体の担当者と連絡調整し、派遣する講師の日程を決定するのに合わせて、利用料を請求します。
- 事前打ち合わせ** 研修実施内容や使用機材等について、養成校・職能団体の担当者または講師と施設・事業所の担当者双方で、直接打ち合わせを行ってください。
- 事前準備**
  - 講師のレジュメ・資料作成
  - 研修日前日までに
  - 経費支払
 事前に講師から送られてきた資料は当日までに必要部数をご準備ください。講師と研修内容、時間、会場、移動手段等の最終確認を行ってください。謝金・旅費等の経費を人材センター指定の口座にお振込みください。
- 研修実施** 講師が直接施設や事業所へ出向き、研修を行います。
- 研修終了後**
  - アンケートの提出
  - 実施報告書の提出
 研修受講者はアンケートを記入し、講師へ手渡しまたは郵送してください。施設・事業所の担当者は実施報告書を記入し、人材センターへメールまたはFAXにてお送りください。

申込み・問合せ先

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会 (島根県福祉人材センター)

〒690-0011 松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根2階  
E-mail shokusapo@fukushi-shimane.or.jp

●月～金曜日 午前8時30分～午後5時(土・日・祝日及び年始年末は休み)

TEL.0852-32-5975 FAX.0852-32-5956

URL http://www.shimane-fjc.com/

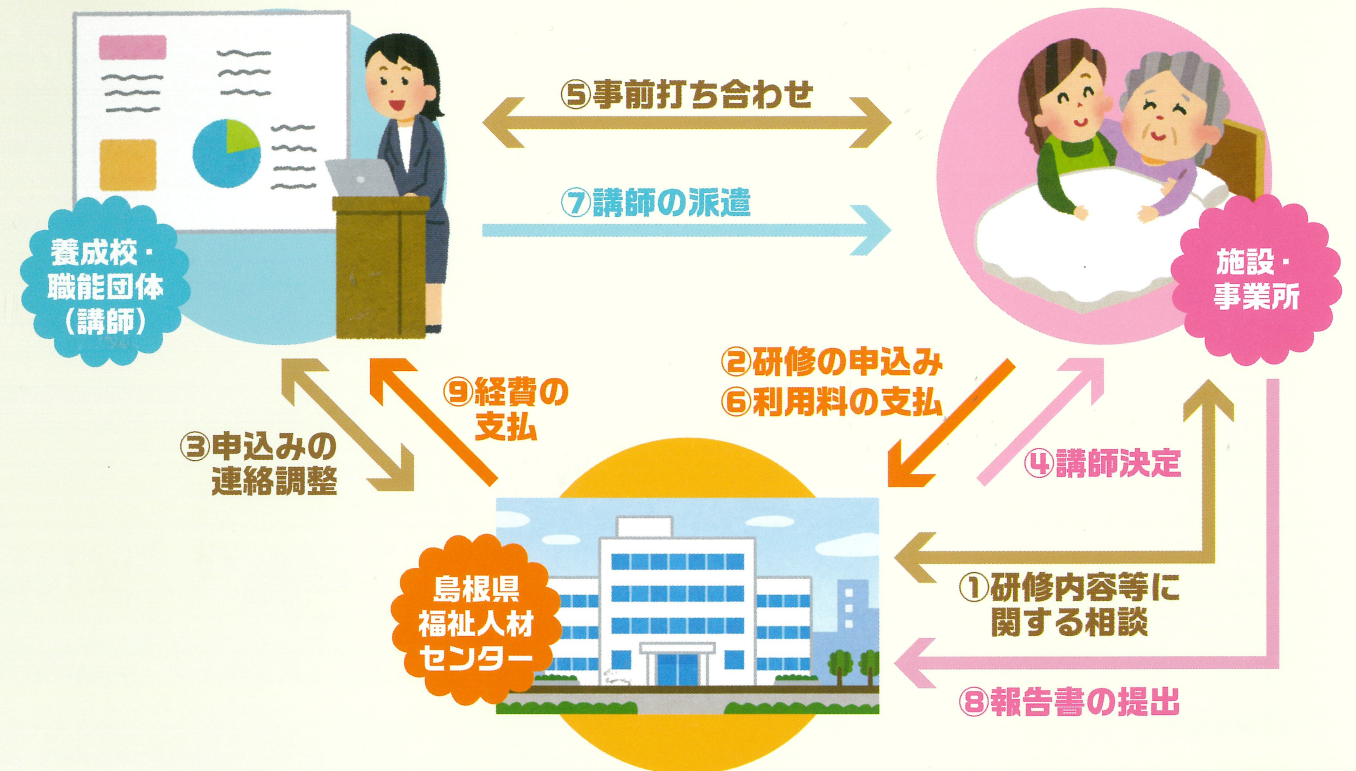
施設 事業所の

研修担当者みなさまへ

# 職場研修サポート事業のご案内

Q.職場研修サポート事業って何？

A.施設・事業所での職場研修の企画から講師紹介まで、個別にご支援する事業です。



Q.講師はどんな方ですか？

A.介護福祉士等養成校等に所属する教員や職能団体に所属する会員です。

養成校・職能団体

- 島根総合福祉専門学校
- 島根リハビリテーション学院
- トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校
- リハビリテーションカレッジ島根
- 松江総合医療専門学校
- 島根県栄養士会
- 島根県看護協会
- 島根県歯科衛生士会
- 島根県介護福祉士会
- 島根県社会福祉士会
- 島根県精神保健福祉士会
- 島根県理学療法士会
- 島根県作業療法士会
- 日本精神科看護協会島根県支部
- 島根県認知症介護指導者連絡会
- 島根県老人福祉施設協議会
- 島根県薬剤師会
- 島根県保育協議会 他

Q.申込方法は？

A.研修2ヶ月前までに申込書に必要な事項を記入し、島根県福祉人材センターあてにお申込みください。

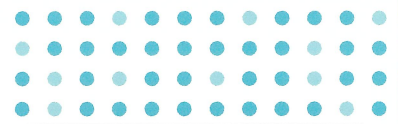
Q.経費負担は？

A.講師謝金(原則、講師一人につき60分あたり5,100円)および旅費相当額(島根県社会福祉協議会の旅費規程による)をご負担いただきます。

島根県福祉人材センター



# 職場研修サポート事業 講師派遣プログラム



分野	No.	科目名	研修内容
看護・保健	1	薬の知識	薬の基礎知識と投薬方法・病気について学ぶ
	2	糖尿病の理解	糖尿病について理解し、必要な基礎的知識及び予防・ケアを学ぶ
	3	高齢者の病気の理解	高齢者の病気の特徴と適切なケアを学ぶ
	4	子供の病気とその症状	子供に特有の病気や感染症（RSウイルス感染症等）、その対応方法や予防を学ぶ
	5	コミュニケーション障がい	高齢者に起こるコミュニケーション障がいの症状とその対応方法を学ぶ
	6	子供の発達障がい	自閉症などの広汎性発達障害、注意欠陥・ADHDなど様々な発達障がいを学ぶ
	7		認知症の医学的基礎知識とケアの方法等について学ぶ
	8	精神疾患のある方への対応	うつ病の医学的基礎知識とケアの方法について学ぶ
	9		統合失調症の医学的基礎知識とケアの方法等について学ぶ
	10	食中毒	食中毒予防を中心にして感染予防に必要な基礎的知識及び最新の感染予防を学ぶ
	11	子供の食と栄養・アレルギー対策	子供に与える発育期の栄養に関する意義と要点、食物アレルギーに関する知識と対策を学ぶ
	12		高齢・障がい者施設で注意すべき感染症とその対策を学ぶ
	13	感染症	保育所（児童福祉施設）で注意すべき感染症とその対策を学ぶ
	14		冬季感染対策（インフルエンザ等）を学ぶ
	15	皮膚トラブルケア	褥瘡、低温火傷、皮膚脆弱による皮膚ハクリ、慢性湿疹等
	16		高齢者のスキンケア・便、尿失禁のある場合のスキンケア・ストーマ周囲のスキンケア・褥瘡（慢性創傷）のケア・スキンケア
	17	緊急時の対応	急性症状（意識消失、呼吸困難、誤嚥等）について観察の要点・対応方法を学ぶ
	18		認知症高齢者の急変の見分け方と緊急時の対応を学ぶ
	19	終末期ケア	終末期ケアの基本的な考え方、施設・居宅における終末期ケア（身体的及び精神面の緩和方法等）を考える
	20		看取り期に出現しやすい症状とその対応、臨死時のケアと連絡事項、看取り期における支援者の役割を学ぶ
	21	メンタルヘルス	ストレスが原因で起こる病気（うつ病等）、こころの健康、職場の人間関係などによるストレス解消法を学ぶ
	22		現場で働く部下の精神衛生への対処方法、働きやすい職場環境を作るための工夫について学ぶ
口腔・歯科	23	歯と口腔の知識	施設利用者の生活機能低下や病気の予防をするための口腔ケアの知識・技術向上を図る
	24	介護予防における口腔機能向上プログラム	介護予防の意義と口腔機能向上加算への取り組みの要点を学ぶ
	25	摂食・嚥下障害	嚥下のメカニズムや誤嚥を防ぐための知識・技術および対応の仕方を学ぶ
権利擁護	26	高齢者虐待	高齢者虐待の実態と身体拘束・虐待を防止するために何が必要か、事業所としてどのように虐待防止に取り組むかを学ぶ
	27		高齢者虐待防止法、身体拘束防止について学ぶ
	28	障がい者虐待	障がい者虐待の実態と虐待防止の取り組みについて考える
	29		障害者虐待防止法・障害者差別解消法について学ぶ

分野	No.	科目名	研修内容
権利擁護	30	児童虐待	児童虐待の実態と虐待防止の為の取り組みについて考える。また、関連する制度を学ぶ
	31	プライバシー保護と人権擁護	プライバシーとは何か、プライバシーを守る方法とは何かを学び、これからの施設の取り組みについて考える
	32	人権研修（同和問題）	人権・同和問題を学ぶ
	33	成年後見制度	成年後見制度の概要・利用方法・留意点について学ぶ、日常生活自立支援事業について学ぶ
組織・人材育成	34		介護職員としての倫理・価値観・モラルを学ぶ
	35	接遇・マナー	保育士としての倫理・価値観・モラルを学ぶ
	36		接客・電話対応を学ぶ
	37	リスクマネジメント	社会福祉施設におけるリスクの発生や影響を最小限のものとするためのリスクマネジメントの仕組みについて学ぶ
	38		リスクの理解と予防方法 リスクマネジメント体制チェックと事例検討
	39	リーダーの役割	部下のやる気を引き出し、目標達成に導くためにどうあるべきか、組織におけるリーダーの役割を学ぶ
利用者理解・援助技術	40	利用者の立場に立ったケア	利用者の立場に立ったケアを考える（利用者主体・目標と評価・後見と自己実現・豊かな実現など）
	41	高齢者の心理	老化による身体的・精神的・社会的な心理の変化を学ぶ
	42	介護職員のための記録の基礎知識	介護記録の基本について、記録の社会的役割、必要性、目的等についてその他、具体的な事例を通して学ぶ
	43		（視覚・聴覚）障がいのある方に対するケアとタイプ別介助方法を学ぶ
	44	介護技術（講義・演習）	移乗の意義と目的を知り、負担の少ない介助のポイントを学ぶ
	45		安楽な姿勢作りのための最新福祉用具とその活用方法を学ぶ
	46		褥瘡の防止等を目的とした快適な姿勢の作り方（ポジショニング）を学ぶ
	47		高齢者の機能訓練
	48	高齢者の体力向上	体力測定、関節構造・筋力等に関する知識、日常生活における工夫の仕方を学ぶ
	49	高齢者を対象としたリハビリテーション	リハビリテーションの目的から方法までを学ぶ
	50	レクリエーション	レクリエーションの意味や目的と演習
	51		子供の自己表現トレーニング
	52	発達心理	子どもがこれから直面する心理的混乱に対して子どもの対処能力、頑張りを引き出していくようなケアや、健やかな発達を支援していくことを学ぶ
	53	子供の安全	保育現場における安全管理と危機管理のあり方を学ぶ
54	援助に有効なコミュニケーション	援助者としての態度を学び、利用者・家族との関係を築くためのコミュニケーション技術の向上を図る 保護者が支援を求めている子育ての問題や課題に対して、保護者の気持ちを受け止めつつ、相談、助言、行動見本の提示その他の援助を学ぶ	